

平成25年度 和歌山県文化功労賞

なか だいら ほ づみ
中 平 穂 積

住 所：東京都豊島区

出 身 地：和歌山県本宮町(現田辺市)

生 年：昭和11年

■現在

写真家

◎業績及び経歴

昭和11年本宮町(現在の田辺市)に生まれる。和歌山県立新宮高等学校の写真部から、日本大学芸術学部写真学科に進学し、同大学卒業後の昭和36年、アート・ブレイキー初来日を撮影し、ジャズ写真の活動を開始した。

その年、自らの理想とするジャズ喫茶をつくろうと、25歳の若さで新宿にジャズ喫茶「DIG」をオープン、大盛況の「DIG」は、やがて全国のジャズ喫茶のお手本となっていった。その後さらに「DUG」「new DUG」とジャズ喫茶やジャズバーの経営に携わる。これらの店は、数々の海外や国内のジャズミュージシャンがライブやレコーディングに足を運んだ場所としても知られる。来店したミュージシャンと親交を結ぶなかで、数々の氏の代表作が撮影されていった。

国内外で多くのライブ撮影を手がけ、専門誌での作品発表のほか、昭和37年、26歳の時に、新宿伊勢丹において、日本初となるジャズアーティスト写真展を開催している。

ジャズを愛し、内外のジャズ祭・クラブでのライブを聴き、その音楽に精通しているからこそ、氏の撮影した写真は実に生き生きしていると言われる。日本におけるジャズ写真家の草分けであり第一人者である。日本のジャズ創世期から約半世紀にわたり、ジャズの歴史を撮り続け、写真家として、また経営者として、ジャズ喫茶・ジャズバーを文化人の集う場所として全国に広め、日本のジャズ文化を根底で支え続けてきた功績は極めて大きい。